

I . 第1号議案(2005年度活動報告)

1. 会員数

2005年度は前年度より68会員減少し、会員数は3,858団体となった。

2006年3月31日現在の支部別会員数は次のとおり。

支部名	会員数	支部名	会員数
北海道支部	240 団体	関西支部	640 団体
東北支部	331	中国支部	262
関東支部	1,111	四国支部	166
信越支部	202	九州支部	215
北陸支部	148	沖縄支部	96
東海支部	447	合計	3,858 団体

2. 活動

【全国活動】

①行事関連

「春季大会・総会」は東京・帝国ホテルにて開催し、全国11支部から980名の参加を得て盛大に挙行できた。

「秋季大会」は沖縄・ロワジールホテルオキナワにて開催し、全国11支部から817名という多数の参加を得て大変盛況であった。

「海外セミナー」は全国から9名の参加となったが、北米地区の先進企業視察並びにシカゴで開催の「itSMF USA2005」見学を行った。

また、情報システム・ユーザ会連盟主催の「システム監査講演会」には、ファミリー会から119名が参加した。

②出版関連

会報「Family」は年6回の発行に加え、Web版会報「eふぁみり」の公開(年4回)。「FUJITSUファミリー会論文」は前期、後期の2回募集を行い、秀作論文2編、奨励論文5編の入賞論文を含む30編を会員専用ホームページ“FAMILY ROOM”に掲載。これらの活動を通じ会員相互の情報交換と各種の情報提供に努めた。

詳細については9ページ以降を参照ください。

【支部活動】

従来の支部中心の運営を継承し、各支部それぞれに工夫をしながら、会員のニーズに沿った運営に努めた。

- ①経営者、管理者層の方々を対象にした企業経営に関するセミナーや、地域に密着した県別セミナーを開催し、また、セキュリティ、RFID など会員のニーズに沿ったタイムリーな話題や最新技術に関する情報を提供し、会員企業が抱える課題解決に役立つ活動を推進するとともに参加機会の拡大を図った。
- ②利用部門を対象にしたセミナーや、e-Learningをはじめ、実務に役立つパソコン教室など、情報リテラシーの向上、およびヒューマンスキルアップを支援する活動の充実に努めた。
- ③少人数による分科会活動などの継続した研究活動を実施し、会員の人材育成を支援するとともに会員相互の異業種交流による人的ネットワーク作りに努めた。
- ④LS 研(リーディングエッジシステム研究会)との相互案内を試行し、参加機会の拡大、および交流の拡充を図った。
- ⑤支部ホームページや E-mail を積極的に活用し、行事の早期開催案内、参加申込みの簡素化および会員へのタイムリーな情報の提供、共有化に努めた。

詳細については11ページ以降を参照ください。

3. 2005年度役員

30ページ以降を参照ください。